

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・夏物商材の出足が良い。これからの夏物バーゲンの商品の出も良くなると見込まれる。これから夏のイベントが目白押しであり、景気は上向きになる。
		家電量販店（店長）	・この夏はかなり暑くなるという予報が出ており、それに伴って家電の季節商材、冷蔵庫等の売上増加が見込める。それとともにオリンピックの需要が出て、AV機器が今後堅調に推移する。
		旅行代理店（従業員）	・6月は9月ごろまでの旅行相談・予約が多くあった。これからも夏休み、盆休みにかけて旅行シーズンになるので旅行需要の増加が期待される。
変わらない		商店街（代表者）	・ガソリンの値上がりによりすべての物価が上昇しているの で、消費になかなか回ってきていない。
		コンビニ（経営者）	・タバコのたすポの関係で売上が上昇しており、3か月後も 同じ推移をすると考えている。
		家電量販店（営業担 当）	・エアコンの最盛期を迎えるが、7月からガソリン、食品等 の相次ぐ値上がりも控えており、それが大きく影響する。
		乗用車販売店（従業 員）	・販売量が伸びないのは、ガソリン代の高騰が主因である。 燃費の良い自動車は注目されるが、地方の不景気が逆風にな り、一向に良い方向に向かわない。
		乗用車販売店（営業担 当）	・4月に新店舗をオープンしたが未だ効果はない。景気が良 ければそれなりの新店舗効果があるはずである。
		通信会社（管理担当）	・業界全体において新しい販売方式が出揃い、端末のサイク ルが落ち着くことが想定される。今後は各年代ごとをターゲッ トとした動きも想定されるが、業界全体に大きな影響はない ものと思われる。
		観光名所（経営者）	・物価がますます上昇しており、レジャー産業への影響を心 配している。
		ゴルフ場（従業員）	・2～3か月後の予約の状況も、今のところ横ばいである。 前年と比べても客の入りが少し弱い。
やや悪くなる		一般小売店〔生花〕 （経営者）	・会社関係等も経費節約しているらしく、月に3,000円くら いの商品を買っていた会社が1,500円、2,000円と経費削減の 方向に進んでおり、企業向けの売行きが鈍っている。来月も 低下すると予想される。
		スーパー（店長）	・ガソリン価格の更なる上昇や食品の再値上げが続けば、景 気への影響がある。
		スーパー（企画担当）	・原油価格が今年最高値を記録し、更に20%程度上がる予 想も出ているなか、店頭価格への影響が出てくるものと考えら れる。
		スーパー（財務担当）	・インフレに対する防衛意識が更に増す。
		衣料品専門店（経営 者）	・来客数減少、必要なものしか買わない単品買い、客単価ダ ウンが常態化している。売上の前年割れは避けられず、いか にマイナスを小幅に抑えるかといった後ろ向き状況が続 く。
		乗用車販売店（従業 員）	・ガソリン価格がこれだけ高くなって来ると、300万円以上 の新車を購入する客が公務員・優良企業の社員等に限られて きた。
		乗用車販売店（管理担 当）	・ほとんどの商品が値上げラッシュであるので、車の購入資 金は必要最小限になると懸念される。
		住関連専門店（経営 者）	・原油高で、ガソリンが上昇しているため、客は慎重になり 買い控えとなっている。
		一般レストラン（経営 者）	・毎月のようにガソリン価格が上がり、車社会である地方の 負担が大きくなっている。これまでの商品単価の上昇も考え ると必要外の買物は大幅に控えらる。
		観光型旅館（経営者）	・売上が伸びず横ばい状態で、原材料の仕入れにおいても、 特に食品関係でどんどん値上がりしており、利益率が悪く なっている。海外旅行が減少、国内旅行の動向も減少気味と いう状態で、良くなる状況にはない。
		都市型ホテル（経営 者）	・先行きの予約状況は全く芳しくない。客の様子からすると 景気はまだまだ悪くなるとらえており、外で金を使うこと がなくなり今よりも悪くなる。
		観光名所（職員）	・原油価格の上昇によるガソリンの高騰や物価高騰等によ り、個人客が減少するため今後も厳しい。

		設計事務所（所長）	・賃貸マンションの家賃相場が全体的に低下してきており、自社マンションでも、家賃を1万円下げてやっと入るようになった。
悪くなる		商店街（代表者）	・原油価格の上昇が止まらずコストが上がり続けている。エンドユーザーへの価格は競争もあり、簡単に変えられないので利益確保はますます難しくなる。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・酒類、食料品のメーカー出荷価格の高騰は、今後も継続すると見込まれる。
		百貨店（営業担当）	・先の見えない値上がり状況で、計画的な家計にとって商品の購入が難しくなる。これから先まだまだ景気は悪化する。
		スーパー（店長）	・今後も更に値上げが続く。特売で牛乳の価格が10円安くなっただけで売行きが大きく違う。以前はなかったことであり、客は価格に敏感で、おいしさ、楽しさは二の次になった。このままでは景気は後退する。
		スーパー（店長）	・前月に引き続き、建設業界の最大手の倒産があった。原油高、食料の高騰が大きく影響してくる。
		コンビニ（エリア担当）	・このまま原油高、原料高が続けば、企業の収益が減少する。家計では、実質所得が減ることで国全体に大きな影響が出る方向に今進んでいる。
		衣料品専門店（経営者）	・消費者の身の回りのものすべてが物価上昇し、企業も原材料の上昇で経営が悪化して給料も上がらず、悪循環になっている。
		衣料品専門店（経営者）	・7月はバーゲンの月に入ってきている。不況時のバーゲンはよく売れるので7月は期待しているが、8月の盆以降がこのままだと相当厳しい。
		衣料品専門店（経営者）	・ガソリン価格の上昇、その他物価の上昇により服の買い控えが起きている。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・ますます可処分所得の減少によって外食比率が下がってくる。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	木材木製品製造業（経営者）	・所得が横ばいで物価がどんどん値上がりをする。家余り現象で家の資産価値がなくなっている。特にマンションに関しては、相当売値が安くなっており、客の買い控えの影響がある。
		建設業（経営者）	・鋼材や燃料の値上がりで利益がますます減少する。
		建設業（総務担当）	・ある程度の受注は確保できているが、今後とも資材の高騰が見込まれ収益の回収は困難となる。
		広告代理店（経営者）	・エネルギー・原材料等の値上げもあり、各得意先の売上不振の影響で販促広告予算が減少している。また紙の値上げで印刷等の仕入れ関係も高騰しており価格競争も厳しくなる見込みである。
	やや悪くなる	繊維工業（経営者）	・食品、ガソリン等の生活物資の値上がりが激しく、今後消費マインドが一層冷え込み、繊維製品の消費にも影響が出てくることは必至である。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・油、諸資材の値上げに対して販売が追いつかない上、小売店の抵抗が強いために採算がなかなかとれない。今のままでは景気は落ち込んでしまう。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・仕事量の減少、燃料高、資材高騰が重なり、ユーザーとの商談自体が減っている。しばらくこの状況は続く。
		輸送業（役員）	・取引先の調達原価も軒並み上昇している上に、物流業界は燃料の異常高騰により、運賃になかなか転嫁ができない状況である。
不動産業（経営者）		・取引先、同業者で、在庫が全然はけないという声が聞こえてくる。広告を打っても反響が少なく、銀行の住宅ローンに対する厳しい対応も見られることから、今後は我々の業界はかなり厳しくなる。	
広告代理店（経営者）		・原油・原材料価格の低下が見込めない状況で自助努力にも限界がある。	
公認会計士		・各企業の経営者の方と話をする機会があったが、将来の物価の高騰を非常に気にしており、「設備投資ができる環境ではない」と言っている。また資金繰りに関して、「銀行の融資態度も十分ではない」という声が多いようである。	
悪くなる	-	-	-
	良くなる	-	-
	やや良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・求人者数の増加が順調であり、過去の累計で、4月3,606人、5月4,016人、6月26日現在4,273人と、順調に伸びている。
変わらない	-	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・求人者数の増加が順調であり、過去の累計で、4月3,606人、5月4,016人、6月26日現在4,273人と、順調に伸びている。
	変わらない	-	-

やや悪くなる	求人情報誌製作会社 (従業員)	・景気が良くなる材料が乏しく、過去3か月と比べると求人数も減ってきている。
	職業安定所(職員)	・5月の新規求人は対前年同月比8.6%、323人減少した。
	職業安定所(職員)	・新規求人数も減少に転じ、企業の採用意欲に陰りが見え始めた。
悪くなる	新聞社[求人広告] (担当者)	・ガソリン価格の急激な上昇が物価全体を大幅に押し上げ、消費がますます縮小していく。
	職業安定所(職員)	・ガソリン税の暫定税率で公共事業が一時凍結した余波と、改正建築基準法の影響で建設業関係を中心に淘汰が進んでいる。原油高も安定する見通しが無い。